

## 【清流園】

### ≪基本方針≫

利用者が笑顔で安心して活動できるように、スタッフ一人ひとりがサービスや専門知識について、積極的に学べる機会を設けます。グループホーム（セントラル武庫）との一体運営事業所として、地域との繋がりを強化しつつ、利用者が安心して暮らすための取り組みを検討及び実施し、法人内にその成果を波及します。

### ≪成 果≫

- ①目的と目標についての理解を深め、毎月の会議で自身の目標を振り返る機会を設け、必要な部分のサポートを行いました。目標数値（95点）には届きませんでした。
- ②改めて地域(繋がり、歴史など)を知り、知ってもらうためのPRを自治会や近隣店舗に向けて、年3回行いました。
- ③サービスについて検討するチームを結成し、スタッフ同士で学習する機会を年2回設けました。

### ≪外部研修受講一覧≫

No	主催者	期間	研修内容	場所	参加
1	兵庫県知的障害者施設協会	5月31日	採用力強化のための人材確保のチーム化	兵庫県福祉センター	3名
2	PWS支援者ネットワーク事務局	7月7日	児童精神科医からの講義と3ケースについて	Web	1名
3	(福)いたみ杉の子	9月27日	地域で生きるアトリエコーナスの軌跡について	メゾン杉の子	3名
4	(福)一羊会	2月6日 2月7日	絵カード交換式コミュニケーションシステムについて	Web	1名

## 【セントラル武庫】

### 《基本方針》

利用者が笑顔で安心して生活できるように、スタッフ一人ひとりがサービスや専門知識について、積極的に学べる機会を設けます。日中活動支援事業所（清流園）との一体運営グループホームとして、地域との繋がりを理解しつつ、利用者が安心して暮らすための取り組みを検討および実施し、法人内にその成果を波及します。

### 《成 果》

- ①目的と目標についての理解を深め、毎月の会議で自身の目標を振り返る機会を設け、必要な部分のサポートを行いました。結果、昨年に比べ目標達成率が上昇しました。
- ②清流園と協力し地域(繋がり、歴史など)を知り、知ってもらうためのPRを年2回行いました。
- ③正規スタッフでサービスについて検討する機会を設け、臨時スタッフとのグループワークを年2回開催しました。

## 【塚口福成園】

### 《基本方針》

塚口福成園だけで完結することのない地域共生社会の実現を目指します。そのために面的整備を展開し、利用者・スタッフ・地域・関係機関との繋がりを深化させながら多機能型（生活介護事業・就労継続支援B型事業）のサービス提供を実施します。

### 《成果》

- ①教える側と教えられる側になる仕組みを作り、3グループに分かれて全スタッフが楽しみながら相互成長できる人財育成をしました。
- ②面的整備（一体運営）に向けて、全スタッフが日中と地域の両方を経験できるように準備をしました。
- ③令和8年度の事業所大規模修繕に備えて、修繕箇所や見積りの準備をしました。安定した収益を維持するために利用者の稼働率を99.6%にしました。

### 《外部研修受講一覧》

No	主催者	期間	研修内容	場所	参加
1	兵庫県社会福祉協議会	5月27日	社会・地域における障害福祉施設の役割、支援の姿勢	福祉人材研修センター	1名
2	(福)来島会	6月6日	スーパーバイズを活用した支援の実践報告	Web	4名
3	尼崎市立地域総合センター塚口	6月13日	合理的配慮の提供の義務化	尼崎市立地域総合センター塚口	1名
4	(株)アイ・ピーアイファーストペンギン	6月14日	運転の実践と運転技術への助言	塚口福成園	2名
5	兵庫県社会福祉協議会	7月4日	新任や後輩職員のOJTを担う職員の役割・基礎的な方法	福祉人材研修センター	2名
6	兵庫県社会福祉協議会	7月22日 7月23日	相談面接の基礎的な知識・技術の向上	福祉人材研修センター	1名
7	兵庫県社会福祉協議会	7月26日 8月9日	相談面接の実践的な知識・技術の向上	福祉人材研修センター	1名
8	兵庫県知的障害者施設協会	8月29日	チームをまとめる上で必要なことは何か	三田市総合福祉保健センター	1名
9	兵庫県知的障害者施設協会	10月4日	強度行動障害SVに必要な知識の向上、事例検討	(福)陽気会	1名
10	兵庫県社会福祉協議会	10月16日	心理的安全性の理解と働き続けられる組織づくり	福祉人材研修センター	1名
11	兵庫県知的障害者施設協会	11月15日	就労選択支援について	ウイズあかし子午線ホール	1名

【塚口福成園】

≪外部研修受講一覧≫

No	主催者	期間	研修内容	場所	参加
12	兵庫県知的障害者施設協会	1月11日	行動障害がある方へのフォーマルアセスメント (TTAP)	(福) 陽気会	1名
13	兵庫県社会福祉協議会	1月23日 1月24日	相談面接の基礎的な知識・技術の向上	福祉人材研修センター	1名
14	(福) 一羊会	2月6日 2月7日	絵カード交換式コミュニケーションシステムについて	Web	1名
15	兵庫県社会福祉協議会	2月13日 2月27日	相談面接の実践的な知識・技術の向上	福祉人材研修センター	1名
16	兵庫県知的障害者施設協会	3月4日	強度行動障害スーパーバイザー養成事業における実践	兵庫県福祉センター	1名

## 【杭瀬福成園】

### 《基本方針》

全スタッフが楽しみながら相互に成長する中で、障害特性に応じた専門的な支援を向上します。また、面的整備を進める中で、日中事業所とグループホーム共に安定した事業運営を目指し検討を重ね、それぞれが地域に必要とされる社会資源となるための「繋がり」を大切にします。

### 《成 果》

①全スタッフが必要な知識や技能を学びあう場を毎月設定し、相互成長できる環境を整えました。相互成長で培った知識や技術をもとに、強度行動障害者支援やコミュニケーション技術、言葉遣いなどの知識を向上することができました。

②令和7年度からのニューノーマルな面的整備（一体運営）を見据えて杭瀬福成園、グループホーム共に安定した体制を構築できるよう、セントラル武庫からの引き継ぎを含めた打ち合わせを毎月行いました。

③利用者に「また、行きたい」と思っていただけのように検討チームを作り、検討会を実施しました。

### 《外部研修受講一覧》

No	主催者	期間	研修内容	場所	参加
1	兵庫県社会福祉協議会	5月27日	福祉従事者新任職員向け障害者福祉について	福祉人材研修センター	1名
2	兵庫県知的障害者施設協会 人材確保委員会	5月31日	採用力強化のための人材確保の チーム化について	兵庫県福祉センター	1名
3	兵庫県危機管理部 災害対策課	6月12日	福祉避難所の設置・運営に関する 実務について	兵庫県私学会館	1名
4	(福)いたみ杉の子	6月13日	発達障害のある人の精神科医療 との関り	(福)いたみ杉の子	2名
5	兵庫県社会福祉協議会	6月20日	はじめて福祉の仕事に就く人の ために（基礎編）	Web	1名
6	兵庫県社会福祉協議会	7月4日	新任職員等へのOJTの意義と進 め方の基礎を理解する	福祉人材研修センター	1名
7	兵庫県知的障害者施設協会	8月29日	新任監督職スタッフ育成について	三田市 総合福祉保健センター	1名
8	尼崎市労働基準監督署	9月12日	社会福祉施設における労働安全 衛生について	Web	1名
9	兵庫県知的障害者施設協会	10月4日	アセスメントについて	(福)陽気会	1名

【杭瀬福成園】

≪外部研修受講一覧≫

No	主催者	期間	研修内容	場所	参加
10	兵庫県知的障害者施設協会	1月11日	フォーマルアセスメントTTA Pを学ぶ	(福)陽気会	2名
11	兵庫県社会福祉協議会	1月23日 1月24日	相談面接技術について(基礎編)	福祉人材研修センター	1名
12	(福)一羊会	2月6日 2月7日	絵カード交換式コミュニケーションシステムについて	Web	1名
13	兵庫県知的障害者施設協会	3月4日	強度行動障害実践報告	兵庫県福祉センター	1名

## 【あいあい】

### ≪基本方針≫

スタッフ個々がおもてなしの心をベースにしながら「専門性」と「楽しさ」を追求した活動を提供することで、利用者が「来て良かった」と思えるサービスを提供します。また地域共生社会の実現に向け、相互理解が深められるように事業所の機能を活用します。

### ≪成 果≫

- ①スタッフ全員が清流園の支援現場の見学を行い、専門性の高いスタッフからの研修を通して基礎知識や支援工夫を学びました。見学や研修で学んできたことを全スタッフで共有し、新たな支援を検討する機会を月2回の会議に取り入れ、継続的に学び合う仕組みを作ることができました。
- ②グループホームに勤務経験の無いスタッフが、見学・研修・遅出（早出）業務といった段階的に経験・引継ぎ（夜勤業務）を行い、通所事業所とは違った「地域生活の場」での支援を体験することで安心して支援業務に取り組める体制を作ることができました。
- ③「おもてなし」を検討する機会や研修を年3回実施し、利用者が「また行きたい」と思えるためのおもてなしについて、スタッフ個々での意見交換を行うことができました。引き続き利用者からもらえる笑顔や支援での達成感から全スタッフのやりがいに繋がる方法について検討を行います。

### ≪外部研修受講一覧≫

No	主催者	期間	研修内容	場所	参加
1	兵庫県社会福祉協議会	5月27日	福祉従事者新任職員向け障害者福祉について	福祉人材研修センター	1名
2	兵庫県知的障害者施設協会 人材確保委員会	5月31日	採用力強化のための人材確保の チーム化について	兵庫県福祉センター	1名
3	(福)来島会	6月6日	スーパーバイズを活用した実践 報告について	Web	2名
4	兵庫県危機管理部 災害対策課	6月12日	福祉避難所の設置・運営に関する 実務について	兵庫県私学会館	1名
5	兵庫県社会福祉協議会	7月4日	新任職員等へのOJTの意義と進 め方の基礎を理解する	福祉人材研修センター	1名
6	(株)アイ・ピーアイ ファーストペンギン	7月30日	運転技術向上のための実践と指導	サポートセンターまつば	1名
7	兵庫県知的障害者施設協会	8月29日	新任監督職スタッフ育成について	三田市 総合福祉保健センター	1名

【あいあい】

≪外部研修受講一覧≫

No	主催者	期間	研修内容	場所	参加
8	PWS 支援者ネットワーク事務局	10月27日	プラダー・ウィリー症候群におけるシームレスな成長ホルモン治療	Web	1名
9	兵庫県知的障害者施設協会	12月3日	権利擁護研修会（合理的配慮について）	こうべ市民福祉交流センター	1名
10	尼崎市社会福祉協議会	12月12日	みんなが活躍できる地域を共に創るほっとかへんネットに向けて	尼崎市立中央北生涯学習プラザ	1名
11	PWS 支援者ネットワーク事務局	2月16日	事例報告会で報告されたケースの問題解決に向けた情報交換	Web	1名
12	兵庫県知的障害者施設協会	3月4日	強度行動障害実践報告	兵庫県福祉センター	1名

## 【チャレンジ・コヤリバ】

### 《基本方針》

利用者が希望する就労や生活に向けた活動やプログラムの内容を強化するため、地域や企業などと繋がり、事業のさらなる充実を目指します。またグループホーム事業と繋がり、面的整備を進めます。地域との交流を定期的に行い、地域で利用者が活動できる場や活躍できる場を広げられるように取り組んでいきます。

### 《成 果》

- ①全スタッフが学びながら相互理解を深め、専門性向上に繋がられるように職員が講師となる研修を年7回実施できました。
- ②事業所の特色とコンセプトを明確にし、利用者に選んでもらえる仕組みづくりを行い、広報を実施しましたが、ブランディングの確立までは達成できませんでした。
- ③地域との交流を深め、地域課題を解決するために事業所としての役割を知らせ、利用者や地域、事業所が繋がり、相互に価値をわかりあえるようなアプローチを実施。利用者、スタッフともに地域イベントに4回の参加。地域協議体への参加にも繋がりました。

### 《外部研修受講一覧》

No	主催者	期間	研修内容	場所	参加
1	兵庫障害者職業センター	7月18日 7月22日 7月23日	障害者雇用や施策、就業支援や労働関係法規の基礎知識等	神戸市立産業振興センター	1名
2	兵庫障害者職業センター	6月24日 7月2日	障害者職業センター業務の理解と就労支援のスキルアップ	ハローワーク灘	1名
3	社会福祉法人全国社会福祉協議会 全国社会就労センター協議会	7月4日 7月5日	就労選択支援事業、災害時の対応、伝統産業の挑戦等	富山国際会議場	1名
4	兵庫県社会福祉協議会	8月7日	コミュニケーションの心構えとスキルアップ	福祉人材研修センター	1名
5	コベルコ教習所(株)	10月5日	刈払機取扱作業の安全衛生教育	尼崎教習センター	1名
6	兵庫県社会福祉協議会	10月16日	心理的安全性の理解と働き続けられる組織づくり	福祉人材研修センター	1名
7	日本財団	12月14日 12月15日	実践などから「何のための就労支援なのか？」の再確認	東京ビッグサイト	2名
8	兵庫県知的障害者施設協会	11月15日	就労選択支援事業の最新情報	アスパア明石北館	1名
9	近畿社会就労センター協議会	11月28日	福祉的就労分野と農業分野の連携	奈良県コンベンションセンター	1名
10	近畿社会就労センター協議会 和歌山県社会就労センター協議会	3月12日 3月13日	災害時における事業継続、農業分野の実践	ホテルシーモア	1名

## 【サポートセンターまつば】

### 《基本方針》

利用者が歳を重ねても安心して利用していただけるように重度高齢化支援についての専門性を高めます。また、その他学んできた支援スキルや専門職との連携により全利用者が笑顔で活動的に過ごせる環境を作ります。利用者を中心とした検討会や地域とのイベントなどを進める中で、利用者一人ひとりへ幸せや地域・関係機関との繋がりの大切さを考えられる人財を育成します。

### 《成 果》

- ①障害福祉ならではの加齢にともなう重度化支援として、他機関や専門職とのつながりやサービス内容、環境構成などの特色を活かした支援を醸成しました。
- ②全スタッフでアイデアを出し合う機会を設けることで、利用者の幸せやサービスについて考えられるように育成しました。
- ③利用者に選ばれる事業所となり事業の維持向上ができるように、HPやSNSなどで事業内容の広報を行いました。

### 《外部研修受講一覧》

No	主催者	期間	研修内容	場所	参加
1	(福) 来島会 南海学園	6月6日	スーパーバイズを活用した支援の実践報告	We b	1名
2	兵庫県社会福祉協議会	7月4日	新任職員等へのOJTの意義と進め方の基礎を理解する	福祉人材研修センター	1名
3	兵庫県社会福祉協議会	7月25日	新任職員等へのOJTの意義と進め方の基礎を理解する	福祉人材研修センター	1名
4	(株) アイ・ビーアイファーストペンギン	7月30日	運転技術向上のための実践と指導	サポートセンターまつば	1名
5	SCERTS研究会	8月11日	「自閉症もうひとつの見方」による自閉症理解と支援	We b	1名
6	兵庫県社会福祉協議会	10月3日	新任職員等へのOJTの意義と進め方の基礎を理解する	福祉人材研修センター	1名
7	兵庫県知的障害者施設協会 (福) 阪神福祉事業団	12月5日	高齢知的障害者への支援	We b	1名
8	兵庫県知的障害者施設協会	12月9日	強度行動障害を示す方への基本理解と標準的な支援	兵庫県福祉センター	1名
9	兵庫県知的障害者施設協会	3月4日	強度行動障害スーパーバイザー養成事業における実践	兵庫県福祉センター	1名

## 【ぶちるぼ】

### 《基本方針》

住み慣れた地域での安心できる暮らしが継続できるように、本人の宿泊経験の増加や緊急時の利用、介護者のレスパイトを目的とした宿泊を提供します。日中事業所や家庭とのつながりを持ち、情報共有をすることにより利用者の全体像の理解を深めます。

### 《成 果》

- ①必要な人財の雇用や環境整備により超過勤務の削減や効率的な業務を行いました。
- ②法人唯一の短期入所事業として、一体化での事業運営や支援工夫などの広報を行いました。
- ③サービス・ホスピタリティ・環境についてスタッフで学ぶ機会を設け、サービスの質を上げました。

## 【セントラル】

### 《基本方針》

事業の発展的解消を目指し、各地域や事業所との繋がりを強化し面的整備体制を構築します。またグループホームでの生活の中で、利用者の将来像の実現をサポートするとともに、これから求められる暮らし方の支援ができるスタッフの育成を行います。

### 《成 果》

- ①面的整備（一体運営）体制に向け、他の事業所と定期的な打ち合わせを行い、職員の夜勤数や臨時職員の契約時間を調整しながら、適正な人員配置を整えました。
- ②面的整備（一体運営）体制の工程や背景を利用者やスタッフにも伝える資料を作成し、アナウンスを行いました。他事業所と連携し、業務に関する引継ぎを行い、面的整備（一体運営）体制を推進しました。
- ③利用者の望む暮らしの実現や、グループホームの暮らしの中でもQOLの向上に視点をあてた支援をしました。

### 《外部研修受講一覧》

No	主催者	期間	研修内容	場所	参加
1	(福) 来島会	6月6日	スーパーバイズを活用した実践報告会	We b	1名
2	ソウエルクラブ	7月23日	管理者向けのメンタルヘルスに関わる講習	We b	1名
3	公益財団法人日本知的障害者福祉協会 近畿地区知的障害者施設協会 兵庫県知的障害者施設協会	9月12日 ～13日	グループホームに関わるシンポジウムと分科会ごとの報告	神戸メリケンパークオリエンタル	2名
4	千葉県（千葉県障害者グループホーム等支援事業）千葉県障害者グループホーム等支援事業連絡協議会	2月28日	地域連携推進会議等の制度再確認と実践報告	We b	1名

## 【相談支援センターことのは】

### 《基本方針》

常に相談者の意思を尊重し、自立した生活の実現に必要な課題・ニーズに対して、解決だけでなく寄り添う支援を実行します。関係機関との連携は、障害福祉分野以外の社会資源とも繋がり続け、地域共生社会の実現の一助を担います。また、それらをスタッフが心身ともに健康で楽しみながら実行できるよう、業務改善や課題解決についての方法を創意工夫します。

### 《成果》

- ①相談者の課題やニーズを社会モデルの視点で捉えて、サービス主導ではなくニーズ主導の考えをもとに支援を提供しました。また、抱えている背景や歴史にも着目するため、アセスメント方法を見直し、ツールの作成も検証を踏まえて実施しました。
- ②地域包括支援センター、民生委員、中央地区を始めとする各地域の振興センター等と繋がりを多く持つことができ、声をかけていただく機会も増え、事業所の認知度を高めることが出来ました。
- ③体制を維持継続する為、記録システムを見直し業務の効率化を図りました。また、収支を算出し採用計画も検討しました。

### 《外部研修受講一覧》

No	主催者	期間	研修内容	場所	参加
1	あいおい同和損害保険（株）	5月14日	福祉施設向け BCPと法的責任について	Web	1名
2	あいおい同和損害保険（株）	6月19日	自然災害BCP机上訓練について	Web	1名
3	あいおい同和損害保険（株）	7月17日	感染症BCP机上訓練について	Web	1名
4	兵庫県社会福祉協議会 福祉サービス運営適正化委員会	11月14日	福祉サービスによる苦情解決について	芦屋市民会館	2名
5	（一社）全国手をつなぐ育成会連合会	1月31日	強度行動障害中核的人材、広域的支援人材養成について等	尼崎商工会議所	1名
6	尼崎市成年後見等支援センター	2月13日	成年後見制度の概要と実際について等	小田南生涯学習プラザ	1名
7	西宮市自立支援協議会 しごと部会	2月17日	本人中心の意思決定支援をめざして～就労支援を中心に～	西宮市フレンテホール	1名
8	（特非）全国就業支援ネットワーク	2月28日 ～3月1日	就労選択支援事業の行政説明と全国のナカポツの動き等	東京たま未来メッセ	1名

【尼崎市障害者就労・生活支援センターみのり】

《基本方針》

就労を希望する方に、就労準備、実習機会、職場環境の整理、就労定着などニーズに応じた支援を提供すると共に、支援ツールの見直しや専門的知識の向上などスキルアップの機会を楽しみながら学べるよう創意工夫します。また「雇用と福祉」を繋ぐ就労支援の中核事業所として、企業や関係機関の繋がりやネットワークを強化、就労支援の底上げを促進します。

《成 果》

- ①相談者のニーズに寄り添った支援を実行していくため、アセスメントの強化や生活面に関する知識の向上など専門的なスキルを積極的に研修参加等で獲得しました。また、得た知識やスキルを事業所内研修等で波及させて専門的知識を共有しました。
- ②企業や事業所と交流する機会を増やす中で、障害者雇用の新規採用、仕事の切り出し、雇用管理等の課題が企業にあることがわかり、都度対応いたしました。
- ③就労選択支援に関する情報を積極的に入手し、行政を巻き込んで地域に必要な事業としての検討を開始しました。

《外部研修受講一覧》

No	主催者	期間	研修内容	場所	参加
1	全国社会福祉協議会全国社会就労センター協議会	6月4日	消費者の購買心理や行動、興味を引くPOP作りなどについて	Web	2名
2	兵庫県障害者職業センター	6月24日	就労支援におけるアセスメントの視点、MSFASについて	兵庫障害者職業センター	2名
3	兵庫県障害者職業センター	7月2日	就労支援におけるアセスメントの視点、MWSについて	兵庫障害者職業センター	1名
4	(独) 高齢・障害・求職者雇用支援機構	7月18日 ～23日	雇用と福祉の分野横断的な基礎的知識、スキルについて	神戸市産業振興センター	1名
5	兵庫県社会福祉協議会	7月25日 10月3日	新任職員等へのOJTの実際やその実践について	福祉人材研修センター	1名
6	(独) 高齢・障害・求職者雇用支援機構	10月28日	ジョブコーチ・就業支援の実践について	新大阪丸ビル別館	2名
7	兵庫県知的障害者施設協会生産活動・就労支援部会	11月15日	就労選択支援について	ウイズあかし子午線ホール	1名
8	(独) 高齢・障害・求職者雇用支援機構	11月26日 ～28日	雇用と福祉の分野横断的な基礎的知識、スキルについて	アクリエ姫路	1名

【尼崎市障害者就労・生活支援センターみのり】

《外部研修受講一覧》

No	主催者	期間	研修内容	場所	参加
9	(独) 高齢・障害・求職者 雇用支援機構	11月28日	認知行動療法を援用したジョブ コーチ支援について	兵庫障害者職業センター	1名
10	(独) 高齢・障害・求職者 雇用支援機構	12月10日 ~11日	認知行動療法を援用した支援に ついて	兵庫障害者職業センター	1名
11	(公財) 日本財団	12月14日 ~15日	障害者就労支援に関わる関係者 が集い、学び、情報交換等	東京ビックサイト	2名
12	兵庫県社会福祉協議会	1月23日 ~24日	相談面接技術について	福祉人材研修センター	1名
13	(特非) 全国就業支援ネットワーク	2月28日 ~3月1日	就労選択支援事業の行政説明と 全国ナカポツの動き等	東京たま未来メッセ	1名
14	厚生労働省	3月13日	就労選択支援モデル事業について	Web	1名

## 【障害者就労支援事業】

### 《基本方針》

尼崎市社会福祉協議会より受託している清掃事業を公益事業として、市内に居住もしくは障害福祉サービス事業所を利用している方や生活困窮者等を対象に、就労を希望する方のステップとして、ビルメンテナンスの手法に基づいた職業訓練を通して、生活リズムの獲得、就労への意欲喚起、適性に合った働き方探し、清掃業務の技術を深める機会など、生きづらさを抱える方の自立の一助となる役目を担います。

### 《成 果》

- ①障害者就労支援事業を通して、誰もが地域の支援機関等と関わり、事業を促進していけるようにマニュアル等の見直しや整備を行い、新たに従事できるスタッフを増やすことができました。
- ②清掃業務の範囲拡大や技術をより深化させるため器具の購入を行い、就労に関するアセスメントの幅を広げました。本人や関係機関から2件のアセスメント希望がありました。
- ③専門性をPRする内容を企画したが、素材が少なく発信は出来ませんでした。事業としては訓練生が途絶えることはありませんでした。

## 【リレくらしサポートセンター】

### 《基本方針》

尼崎市内の障害のある方々が安心して生活できるように、グループホームの空床情報や生活介護事業の基礎情報の公表や、ネットワーク会議を開催することでグループホーム、短期入所、生活介護事業の活性化を図ります。関係機関とのつながりを深め、緊急時でも市内で生活できる環境作りとコーディネートを行います。

### 《成 果》

- ①利用者のライフステージに合わせた支援やニーズについて情報収集と共有をしました。
- ②ネットワーク会議や訪問を通じて関係機関とのつながりを深め、得た情報は行政と情報共有や提言を行い、利用者が安心して生活できる町づくりに繋がりました。
- ③事業内容や理解が深まるように、事業説明の機会やHP、SNSなどを用いて広報しました。

## 【総務】

### 《基本方針》

地域に根差した面的整備をはじめに、仕事を楽しむ福成会のニューノーマルを確立するため、テクノロジーを活用した業務効率化による負担軽減を図り、スタッフが安心できる環境整備を行い、多様性のある等身大の法人をホームページやSNSを活用した人財確保を進めます。

### 《成果》

- ①人財確保チームを起ち上げ、必要な人財の充足（令和6年度中途採用1名を含む7名の採用）に繋がりました。
- ②既存のHPやSNSを活用しつつ、新たな媒体を検討し、法人のPRを拡大しました。
- ③ミドルマネージャーや女性管理職を増やすために、規程を見直し、新しい制度を設立しました。

### 《外部研修受講一覧》

No	主催者	期間	研修内容	場所	参加
1	厚生労働省	7月4日	配偶者手当と賃金制度見直し	Web	1名
2	ソウェルクラブ	7月24日	接遇について	Web	2名
3	(公財)ニッポンハム 食の未来財団	9月24日	食物アレルギーについて	Web	1名
4	(一財)兵庫県社会保険協会	11月13日	労働保険の概要・事務手続	尼崎商工会議所	1名
5	日本公認会計士協会兵庫会 社会福祉法人経営者協議会	1月31日	経営改善と専門家支援について	神戸メリケンパーク オリエンタルホテル	1名